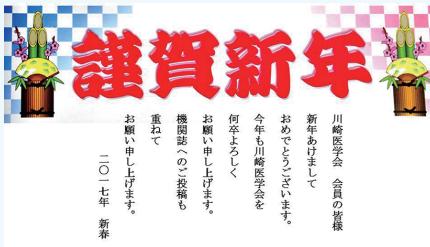




Camnet マガジンをお楽しみの皆さん。マガジン版「雲心月性」です。お楽しみください。

さて、大槻は川崎医科大学の中で川崎医学会という学内の学会の運営委員長を務めています。教員や教授の先生方の部屋に入る廊下などにデジタルサイネージで学内の種々のイベントや講演会などのアナウンスを提示しているのですが、毎月 4 枚程の写真などで川崎医学会の機関誌への論文の投稿を促す PR をしています。

2017 年の 1 月と 2 月のスライドを紹介！ 友人の Ms. Keiko C の描かれたイラストも使わせてもらっています。



まずは、何はともあれ「謹賀新年」



一富士二鷹ですから、富士山、冠雪しています。



雪野原ですね。実は北陸本線からの車窓の写真です。



暖かそうな衣装でも雪の中は寒いかな。

radio Camnetに続くマガジン版 雲心月性

大槻ワールドへ
ようこそ



舞い降りてくる雪の粒を数えましょう。



蟠梅です。艶やかな色合いで。



そして 2 月といえば、バレンタインデイ！



こちらは手作りチョコに願いを込めています。



雪の世界を橇を引っ張って！

いかがでしょうか？ このコラムで、これからも紹介していきたいなって思っていますので、是非、よろしくお願い致します。

今月の歌詞紹介。iTunes リリースしています アルバム Adolescent Memories より「雪色」作詞：幸田圭子、補作詞・作曲：大槻剛巳

“コーヒーをどうぞ”

くたびれた朝 疲れた空気
部屋の暖かさ レモン入りの紅茶

これが 冬の すべて
雪色に 染まつた 冬の

隠れた青空 白くなる息
夢が包む朝 静かな街路樹
これが 冬の すべて
雪色に 染まつた 冬の
これが 冬の すべて

あなたには 沢山の ありがとう
震えてた 心の 冷たさ 温めてくれて
そっと 抱きしめてくれて
ほら 静かに 雪が舞い出した
大きなマフラーで 出かけてみよう

色あせた唇 悅む小指
風が区切る朝 凍てつく風景
これが 冬の すべて
雪色に 染まつた 冬の
これが 冬の すべて

あなたから 贈られた 眇しさ
思い切り 両手を 広げて 受け止めてみれば
そっと 目覚めてくように
さあ ほんのり 頬を赤くして
分厚いコートで 出かけてみよう

はにかんだ陽射し まぶたに粉雪
想い育んで 氷柱は溶け出す
これが 冬の すべて
雪色に 染まつた 冬の
これが 冬の すべて



大槻 剛巳
(おおつき たけみ)

川崎医科大学衛生学教授

0歳：京都府福知山市にて誕生

14歳：京都府中学校陸上競技大会にて100mハーフ2位

14歳：KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用

15歳：倉敷市に転居

15 & 18歳：NHKあなたのメロディー出演

18歳：YAMAHAポップコン全国大会(譜面の部)出場

20歳：YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり

24歳：川崎医科大学卒業

以降：川崎医科大学血液内科～衛生学にて診療・研究・教育に従事

1992-1996年：米国留学(医学研究)

1996年：岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作として「岡山の文学」に掲載

2009年：Camnet CH-F(10-19)パーソナリティ担当

現在に至る